

おおとり株式会社  
Communication on Progress  
2019年度

\* 対象期間: 2019年2月～2020年1月まで

連絡先

おおとり株式会社 経営品質室 コンプライアンス担当 課長 立元 優

Email: [m-tachimoto@ohtori.co.jp](mailto:m-tachimoto@ohtori.co.jp) 電話: 06-6643-4672 Fax: 06-6633-6389

## 会社概要

会社名 : おおとり株式会社

所在地 : 〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4-8-4

従業員数 : 608名 (2020年1月1日現在 おおとりグループ連結)(海外現地法人社員 59名含む)

事業内容 : LCD、半導体、機構部品などを含む電子部品、それらのユニット製品の販売等

### グループ企業

岡本無線電機株式会社

台湾奥拓利股份有限公司

OHTORI HONG KONG LIMITED

OHTORI MALAYSIA SDN.BHD.

OHTORI ELECTRONICS (SNG) PTE.,LTD.

上海奥拓利電子有限公司

OHTORI (THAILAND) CO., LTD

奥拓利電子諮詢(深圳)有限公司

OHTORI ELECTRONICS VIETNAM COMPANY.,LIMITED

## トップステイメント

弊社グループは2011年にグローバル・コンパクトに参加しました。

グローバル・コンパクトおよびその10原則を支持し、企業活動を進めてまいります。

本年度の活動としては、

日本国内全社員対象で、SDGsに関する理解を深めるための研修終了し、今後も継続してSDGs推進を進めて、社内浸透を図りたいと考えています。ボランティア活動についても、より多くの社員が参加できるように、働きかけを行ってまいりました結果、実績として地域貢献活動がより活発化しました。今後、コンプライアンスに関しての社内研修を実施して、まずは、社内規定等についてより深く浸透させ、コーポレートガバナンスを強化して参ります。また、SDGs活動を活性化すること目指してまいります。具体的には他社事例を参考に当社で取り組めることを確実に進めていきたいと考え、現状をSDGsの17の目標に照らし合わせ、企業としての方向性を模索し、2030年までの活動をより具体的なものにしていきます。

当然、企業倫理行動規範の社内浸透や、国連グローバルコンパクトの10原則をより深く理解して、様々な目標に寄与して行けるように継続的に努力してまいります。



署名

氏名 岡本 弘

役職 代表取締役社長

2020 年 2 月 15 日

おとしグループ 人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
新入社員及び入社1年未満の社員に対して。UNGC及びCSRに対する研修の実施と全社員対象のSDGsについての研修を実施	全社員へ直接説明会を実施再開し、全部署へでの研修が一通り終了	◎ SDGsに関する研修を継続するとともに、UNGC,CSRの浸透に努める
エコキャップ運動 ペットボトルのキャップを全社において集める運動を行った。(浪速区役所へ寄贈しポリオワクチンを贈る)	8.7万個超のキャップを寄贈(ワクチン約109人分超)(前年比約60人分増)	◎ 継続し、貢献する
育児休業及び育児短時間勤務規程に従い、対象者に対して規程通りに実行	出産・育児休暇 9名 育児時短勤務 7名	◎ 今後も申請者に不利益にならないように、規程に従って確実に実行していく
ダイバーシティ、障がい者雇用、定年退職者再雇用の推進	女性管理職 0名 再雇用実績5名 外国籍社員雇用 4名(日本国内) 障がい者雇用 8名在籍	△ ◎ 継続し、積極的に推進する
使用済み切手寄贈運動	仙台営業所, 50g(約500枚)シティOL-AIDに寄贈 ( <a href="https://city.living.jp/sp/olaid/">https://city.living.jp/sp/olaid/</a> ) 本社 1Kg(約10000枚) 日本生命様に寄贈(別途資料添付)	◎ 継続し、積極的に推進する
大阪、東京、名古屋それぞれの本部ごとに、「あゆみの箱」による募金活動を行い、各施設、団体等へ寄付を実施。	生野特別支援学校(大阪)、東京育成園(東京)、晴光会(名古屋) 合計 189,500円	◎ 例年通り継続する
日本赤十字社寄付及びその他支援団体	岡本無線、おとし、岡本興産 合計 45,000円(日本赤十字社) 他災害支援寄付、その他 合計 3,000,000円	◎ 例年通り継続する
地域活動への積極参加	献血活動、夜間防パトロール、地域クリーンアップ活動への参加 その他地域の取組に対して、ボランティアとして協力	◎ 継続するとともに、地域に密着した参加活動を広げていく。(地域イベントなどへの協力)

おおとりグループ 労働基準分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価		来年度の活動目標・内容
コンプライアンス研修の実施 研修で労働・環境問題を取り上げた内容を含む教育を実施	本年度は新入社員に対してはCSRの基礎、全社員対象のSDGsに関する内容についての研修を実施、社内規定に関する研修を実施中	◎	各部署への訪問等に取り、直接コミュニケーションを図りながら、引き続き社員教育を徹底する
コンプライアンス研修の実施 実際の事例を基に研修資料を作成し実施	コーポレートガバナンスに対する社員の意識が向上(来期も継続)	◎	各部署への訪問等に取り、直接コミュニケーションを図りながら、引き続き社員教育を徹底する
ダイバーシティ、障がい者雇用、定年退職者再雇用の推進	女性管理職 0名 再雇用実績4名 外国籍社員雇用 4名(日本国内) 障がい者雇用 8名在籍	△ ◎	継続し、積極的に推進する
ES向上の一環として各部署でのリクリエーションの実施 ・社員対象イベント各部署単位で実施 ・名古屋営業所跡地を社員に解放し、畑として活用	自由参加の中、たくさんの社員が各イベントに参加し、コミュニケーションが図れた	◎	社員にとって、働き甲斐のある企業をめざし、引き続きES向上を目指す
水曜日ノー残業デーの取組で、全社員に毎週メッセージを送信	全社員に対するワークライフバランスの推進につながっており、徐々に定着してきている。	○	継続し、積極的に推進する
各国の労働法に従い、違法性のない職場環境を提供	最新の労働法に基づく活動	◎	各国の労働法改定等あれば、就業規則や、各規程を見直し、違法性のない職場環境を保っていく

おとしりグループ 環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容									
ISO14000の取り組みの中、以下削減を全社で目指した											
・ガソリン使用削減(エコドライブ運転の推進、エコカー導入等)	<p style="text-align: center;">単位:ℓ</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>エコカー導入(年: 16/13台)、公共交通機関利用等</td> <td>2018年</td> <td>105,458</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2019年</td> <td>95,932</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年比</td> <td>91%</td> </tr> </table>	エコカー導入(年: 16/13台)、公共交通機関利用等	2018年	105,458		2019年	95,932		前年比	91%	◎ 本年度、事業活動強化により増加傾向、燃費基準達成車へ入替(2018年実績 10台)に加え、公共交通機関利用及び計画的な営業活動を推進しエコドライブ運転等の低減活動強化
エコカー導入(年: 16/13台)、公共交通機関利用等	2018年	105,458									
	2019年	95,932									
	前年比	91%									
・コピー枚数削減(図面・プレゼン資料のデータ化、両面・裏紙印刷の強化)	<p style="text-align: center;">単位:枚</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>全社販売促進及び社内配布資料増による</td> <td>2018年</td> <td>3,870,933</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2019年</td> <td>3,628,897</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年比</td> <td>94%</td> </tr> </table>	全社販売促進及び社内配布資料増による	2018年	3,870,933		2019年	3,628,897		前年比	94%	◎ 本年度、印刷機の出力行を全社へ導入、保管資料の電子化に加え、提供資料・図面等の電子化、裏紙再利用・両面印刷の活動強化
全社販売促進及び社内配布資料増による	2018年	3,870,933									
	2019年	3,628,897									
	前年比	94%									
・電気使用量削減(LED照明、クールビス・ウォームビスによる空調省エネ運転、省エネ機器へ入替え)	<p style="text-align: center;">単位:Kw</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>空調の入替(本社、北大阪ビル、大阪SC)</td> <td>2018年</td> <td>1,262,829</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2019年</td> <td>1,245,549</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年比</td> <td>99%</td> </tr> </table>	空調の入替(本社、北大阪ビル、大阪SC)	2018年	1,262,829		2019年	1,245,549		前年比	99%	◎ 本年度、低消費電力機器への入替え、エアコンの温度設定、クールビス・ウォームビス運動に加え、提供資料・図面等の電子化、裏紙再利用・両面印刷の活動強化
空調の入替(本社、北大阪ビル、大阪SC)	2018年	1,262,829									
	2019年	1,245,549									
	前年比	99%									
エコキャップ運動により、ゴミとして処分されるとキャップ400個でCO2が3,150g排出されるが、リサイクル処理することでCO2排出削減に貢献(約3.6万個超のキャップを本社総務部で回収)	◎ 前年3.6万個回収であったが、今年においては8.7万個回収でした。	◎ 継続し貢献していく									
コンタクトレンズのキャップを回収し、アイシティに寄贈。その後リサイクル事業により活用していただいた。	◎ 本年度より福岡商品センターのパート社員からの提案で取り組み、実績とし前年3000個強の回収であったが、本年度は6000個強の回収ができた。	◎ 継続し貢献していく									

おおとりグループ 腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>コンプライアンス研修で贈収賄等含む内容の研修を実施するとともに、当社企業倫理行動規範における腐敗防止の徹底を周知させた。</p>	<p>企業倫理行動規範の各部署での読み合わせ等を、義務付け実施させ、理解度も上がった(継続取組)</p>	<p>各部署への訪問等により、直接コミュニケーションを図りながら、引き続き社員教育を徹底する</p>

ステークホルダーに対して、このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容の公開方法

<p>当社社外HPへ掲載する</p> <p>UNGCのWebサイト上での公開などを紹介し、COPの内容を伝えることと、UNGCについての認識を高めていただくようにする</p>
---

「ごみの排出削減」「資源ロスゼロ」を目指し、地球温暖化、資源喪失、廃棄物排出ゼロ、誰もが健康的で生活しやすい環境を目指します。



- ・ごみの管理をし、ごみ自体の排出を削減する
- ・在庫の管理を強化し、ロス在庫ゼロを目指す
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)を強化し、資源喪失を防ぐとともに資源の再利用に寄与する
- ・パートナーシップによりこれらの実現を目指す

健康で平等な働きやすい環境を目指します



- ・健康診断の積極的受診を促す
- ・施設等への活動を強化する
- ・女性活躍の機会を増やす
- ・安定した業績を確保し、安心して暮らせる企業となる
- ・利益貢献し、世の中への還元が可能な企業を目指す
- ・地域との連携により、評価される企業を目指す
- ・名古屋営業所跡地を解放し、素人ながら作物をそだて、施設の子どもたちを招待し、一緒に収穫



地域取り組みに積極参加す路と共に、主業発展を元に社会貢献を目指します



- ・地域の取り組みに積極的にボランティア参加する
- ・企業価値向上を目指し、従業員満足度を上げる
- ・各災害時の日本赤十字社を通じての寄付

主業を拡大させ、未来世紀の発展に寄与し、サステナブル(持続可能な)企業を目指します



- ・展示会等も含め、最新の情報発信をし、より良い住み続けることのできる社会の一翼を担う
- ・主業の発展により、働きがいのある企業を目指す
- ・ISO14001の継続認証、紛争鉱物の調査及び監視、環境に配慮した製品の提供

# 地域貢献活動(名古屋)

2020年6月,11月 名古屋芋ほり  
6月ジャガイモ収穫、11月サツマイモ収





# 地域貢献活動(本社)

2019年計11回 日本橋まちづくり  
キャンペーン パレード





# 地域貢献活動(本社)

2019年11月21日大阪マラソン地域清掃



2019年1~12月、地域防犯活動 延べ5回



2019年11月25日 大阪マラソンボランティア



# 地域貢献活動(本社)



2019年3月10日  
第15回日本橋ストリートフェスタ巡廻警





# 人権活動等協力

海外思想情報株式会社  
代表取締役社長(株) 木村 聡

平成29年7月 日

日本生命保険相互会社  
活動部 支援  
主任 長

目的 特にお子様ご自身の心と体を大切にします。

日本は先進国に比べて少子化の心配が鳴り響く勢いがあります。

さて、当社では、防災技術の提供で成り立つ生命保険事業の性格を踏まえ、よりよい商品・サービスの提供に努めることに加え、創業以来、社会貢献活動にも積極的に取り組んでまいりました。その一環として、地域貢献・ボランティア活動も積極的に推進しており、全国各地で、お客さまとのコミュニケーションを育みながら、社会貢献の輪を広げてまいります。

今回ご案内させていただいております、使用済み切手の収集活動は、特定非営利活動法人「シャプラニール」の国際協力活動に協力するもので、回収にご協力いただきました使用済み切手は、廃棄され、南アジアの貧しい人々の自立支援や現地プロジェクト活動に役立てられます。

つきましては、担当職員が持ち回りますことをご案内で得ました。回収にご協力いただけます。

また、回収活動はご自身より、各種情報提供サービス等のため、今後担当職員が定期的に訪問させていただきますので、ご支援・ご参加賜りますようお願い申し上げます。

本業ではございませんが、お詫言いますのご支援を心より祈念しております。

器具

生27-11-1116、法人職員事務室

“大切な人を想う”のいちばん近くで。  日本生命

ご存知ですか？ あなたの“使用済み切手”が役に立ちます！

ボランティアにご協力ください

実施時期 / ~ /



集められた使用済み切手は、ボランティアの方々により、分類・整理され、切手収集家や取扱業者のご協力で換金されます。こうして得られた資金が、南アジアの貧しい人々の自立支援や現地プロジェクト活動に役立てられます。  
**是非、あなたの使用済み切手をご提供ください。**

例えば

識字教室で  
児童1人が3ヵ月  
学ぶためには



使用済み切手  
6.2kg  
(4,000円相当)

収集方法

- 切手は、どんな種類のものでも結構です。
- 枚数は数える必要はありません。
- 切手の周り5ミリ~10ミリを残して、台紙ごと切り取ってください。  
(※消印は切り取って構いません)



収集いただきました使用済み切手は、日本生命の担当者が回収にお伺いし、シャプラニールへ責任をもってお届けします。

“大切な人を想う”のいちばん近くで。  日本生命



- シャプラニールは1972年に設立された民間の海外協力団体で、バングラデシュ、ネパール、インドの3カ国で、働く子どもたちの支援や自然災害の起こりやすい地域での地域防災支援活動等を実施しております。
- 日本国内では、不用品をリサイクルして海外協役に役立てる活動“ステナイ生活”を行っております。

活動紹介

ネパールの活動内容【大地震復興支援活動】

2015年4月25日にネパールでM7.8の大地震が発生しました。シャプラニールは、安心して住民が集えるコミュニティスペースの運営や、被災者の不安を取り除くメンタルケアプログラムの実施などの復興支援活動を行っています。



# エコプロジェクト活動等協力



## 使い捨てレンズ空ケースをリサイクル!

アイシティ店頭回収ボックスに是非お持ちください。



アイシティでは、使い捨てレンズの空ケースリサイクル運動「アイシティ eco プロジェクト」をおこなっております。

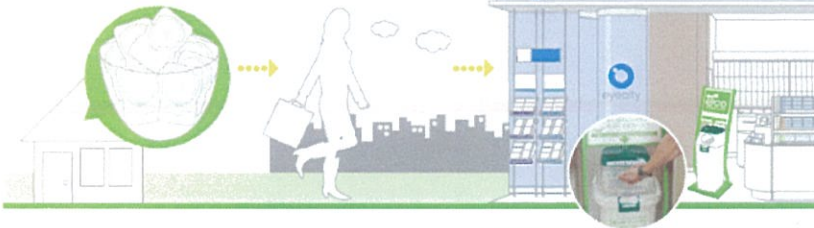
アイシティecoプロジェクト活動が広がっています!

学校・企業の導入事例はこちら

ご自宅で集めて・・・

お時間のある時に・・・

アイシティへお持ちください!



使い捨てレンズ空ケースがリサイクルできることをご存知でしたか?

メーカー、ご購入先問わず、おひとつでも結構です。

※お願い：アルミシートは完全にはがしてお持ちください。

## ① リサイクルによる再資源化



1. 使い捨てレンズ空ケースはリサイクル工場ですぐに粉砕されます。  
2. 次に熱処理により、粒状にした後、再生PP(ポリプロピレン)素材へと変身します。  
3. 再生PP素材は様々なリサイクル製品に生まれ変わります。

## ② 空ケースの売却代金を日本アイバンク協会へ寄付

これまでの寄付実績 (半期に1回寄付)

2017年10月～2018年3月の寄付金額 469,841円

2018年4月～2017年9月の寄付金額 6,433,865円

リサイクルにより再資源化した対価は(財)日本アイバンク協会に寄付し、視力を再び取り戻したいと願う方たちのために役立てます。

※(財)日本アイバンク協会とは角換算値が必要な方々が、視力を取り戻すことができるよう、角換算値とアイバンクの啓発、普及を行うために設立された非営利の公益法人です。

☎ (財)日本アイバンク協会

## ③ CO2削減

1日使い捨てレンズ1箱分の空ケース(30g)のCO2排出量  
ガソリン乗用車(燃費 18.2km/l) 1km 走行時と同排出量

■2018年4月～2018年11月の累計実績

回収量 290,277 t CO2削減量 804,051 t-CO<sub>2</sub>

804,051 t-CO<sub>2</sub> 東京ドーム48.2個分の森林が一年間で吸収するCO<sub>2</sub>と同量

※アイシティ全国店舗の合計となります。  
※CO<sub>2</sub>削減量は空ケースを回収した場合のCO<sub>2</sub>発生量を表します。  
<計算式>  
※年別CO<sub>2</sub>削減量[t-CO<sub>2</sub>] = 3.57[t-CO<sub>2</sub>/ha] × 森林換算面積[ha]  
年別森林吸収量3.57t-CO<sub>2</sub>/ha (「NEDO 2000年太陽光発電導入ガイドブック」より)  
※森林換算面積[ha] = 4.6755[ha] = 東京ドーム換算東京ドーム面積 4.6755[ha] (東京ドームシティ公式サイト「施設概要」より)



# エコプロジェクト活動等協力



※12月末時点の状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月平均
紙テープ	74	94	112	127	146	158	13
OPPテープ	196	243	274	301	339	364	31
セロテープ	150	182	206	230	263	284	24
累計合計	420	519	592	658	748	806	68



## おおとり㈱グループの企業倫理行動規範について

おおとり株式会社  
岡本無線電機株式会社

### はじめに

おおとり株式会社と岡本無線電機株式会社および関連会社は、「法令の遵守」と「社会倫理の尊重」の姿勢を役員および社員（準社員と派遣社員を含む）の一人ひとりが身につけ、社会に広く受け入れられる「企業倫理」を築いて実践することが、必要不可欠であると考えます。

この基本姿勢を「企業倫理の基本理念」とし、この理念に基づき、「コンプライアンス部」を設けました。

さらに、おおとり株式会社と岡本無線電機株式会社および関連会社の全ての役員および社員（準社員と派遣社員を含む）を対象として、「企業倫理行動規範」を以下に制定いたしました。また「企業倫理行動規範」を周知徹底するために、各部署長を「コンプライアンス・リーダー」とし、全社をあげて「教育・啓発」、「相談・連絡」等を一貫して推進していきます。

この「企業倫理行動規範」で明示されていることに反した行為、またはその疑いがあると思われる情報等に接した時は、部署長に相談し、速やかに解決を目指します。それでも納得のいかない場合や、部署長に相談することが難しい場合には、コンプライアンス部の「相談窓口」に直接相談することができます。この「相談窓口」を経由して適正な目的で情報提供した社員は、一切不利益な取り扱いを受けることはありません。

## 経営方針

1. 商行為を通じて社会公共の福祉に貢献する
2. 堅実経営を基本に一步一步前進し健全な発展を期す
3. 誠実・努力・明朗 以って信用の蓄積を計る

## 行動指針

- \* 我々は、個性を尊重し、チームワークの強みを活かし、明るく、生き活きた企業風土作りを目指します。
- \* 我々は、若さと情熱と夢を持って、豊かな生活を目指し、働きがいある会社になります。
- \* 我々は、積極的に何事にも興味を持ち、専門知識を深め、感性を高めます。

## 企業倫理行動規範

### 社会との関係

1. 人権の尊重  
私たちは、人種、民族差別、障害者差別、性差別など、人権を理由とする差別やプライバシーの侵害を行いません。
2. 環境の尊重  
私たちは、当社の環境方針に則り、地球環境・自然環境に十分配慮した企業を目指します。
3. 公平性の尊重  
私たちは、特定の政党、宗教、思想、およびそれらの団体に偏った企業活動は行いません。
4. 反社会的勢力との関係断絶  
私たちは、市民社会や経済活動に脅威および障害となる反社会的な活動や勢力との関係は、一切持ちません。

5. 福祉活動への取り組み

私たちは、福祉活動にも積極的に取り組み社会貢献に努めます。

法令・規制の遵守

6. 法令遵守

私たちは、関連する国内外の法令・規則・及び業界の規制・要求等を遵守し、社会規範及び企業倫理に基づき適正な事業活動に努めます。

7. 適正な会計処理

私たちは、関係法令や社内規程・基準類に従って適正な会計処理を行い、有効に内部牽制が働く社内システムの構築を行います。

取引先との関係

8. 公正で誠実な企業活動

私たちは、常に企業活動を公正に保ち、また誠実な姿勢で取引先と対応し、取引先から高い信頼を得られるよう、業務を遂行します。

9. 信頼に応える商社機能

私たちは、ユーザーニーズに応える品質を実現する為、当社の品質方針に則って、取引先から信頼され、価値を認めていただける商社機能の構築を目指します。

10. 贈答、接待、献金の制限

私たちは、法令・倫理道徳一般の商慣習に照らし、儀礼を越える範囲の贈答・接待・献金を「しない」「受けない」「求めない」こととします。

## 情報管理

### 11. 情報管理の徹底

私たちは、自社・顧客・第三者からの情報、および個人に関する情報を適切に管理・保護することを徹底します。

### 12. コンピューター・ネットワーク上の脅威に対する防御

私たちは、コンピューター・ネットワーク上の脅威に対して防衛策を講じて、自社及び他社に被害を与えないよう管理を行います。

## 社員との関係

### 13. 健全で安全な職場環境の提供

私たちは、労働関係法を遵守し、社員へ健全で安全な職場環境を提供し維持します。

### 14. セクシャルハラスメントのない職場環境

私たちは、健全な職場環境を実現するためにセクシャルハラスメントを容認しません。問題が発生した時は早急に対応し、再発防止に努めます。

## 附則

### 行動規範の適用範囲

この行動規範は、おおとり株式会社と岡本無線電機株式会社および関連会社のすべての社員、準社員・派遣社員に適用するものとします。

### 「相談窓口」の設置について

私たちは、社内のコンプライアンス違反を発見した場合は、「相談窓口」等を利用して組織の自浄に努めます。